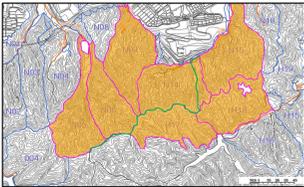
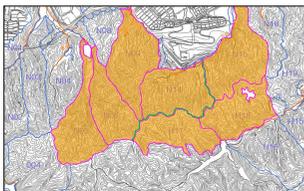
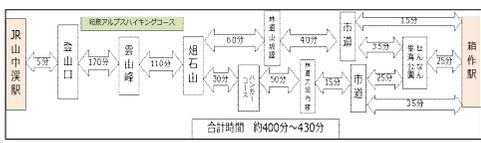
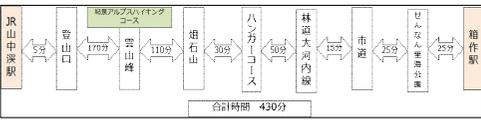


【阪南市森林整備に係る実施計画(案)】

No.	頁	章	タイトル	意見要旨	市の考え方及び対応	記載内容
1	全般		情報発信・ハイキングコースの整備について	<p>なぜこの取り組みが必要なのか、どのような効果があるのかについて、市民への周知や丁寧な説明がもう少し必要ではないでしょうか。理解が深まることで、より多くの住民が計画に参加しやすくなると思います。</p> <p>計画の内容や進捗が市民にどのように周知されるのか、もう少し分かりやすい情報発信があると良いと思います。また、ハイキング道の整備にあたっては、安全対策や案内板の充実など、市外から訪れる方にも分かりやすい工夫をお願いしたいです。</p>	<p>情報発信のあり方については、今後も検討してまいります。</p> <p>ハイキング道の整備につきましては、P18「5.森林整備・活用計画 5-4)森林環境整備」のとおりハイキングコース周辺の整備を進めてまいります。</p>	左記のとおり対応しますので、記載は原案どおりいたします。
2	27	5-11-2-②	アクセス道のルートについて	<p>P27のアクセス道(グリーン色)が、N15とN14の接するラインになっていますが、現在利用されているルートではないように思います。再確認をお願いします。</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。ルートを修正します。</p> <p>記</p> <p>P27 図(修正後)</p>  <p>(修正前)</p> 	左記のとおり原案を修正いたします。
3	16	5-2	山と海をつなぐネットワーク	<p>P15の観光連携軸の青いライン、箱作駅から俎石山へは、林道山坂線を利用しています。P16で山と海をつなぐネットワークとして具現化すると有りますので、代表ルートとして、林道山坂線を利用したルートの記述が必要だと思います。現状、登山者の多くは箱作駅から林道山坂線、スカイタウンを通過して俎石山に至るコースを歩かれています。</p> <p>P16で林道大河内線を経由し、せんなん里海公園に至るコースを代表コースと設定されていますが、ハンガーコースを歩かれる登山の方はせんなん里海公園へは行かず、直に箱作駅に行かれているようです。せんなん里海公園への誘導はなくてよいと思います。</p>	<p>「山と海をつなぐネットワーク」について、本市総合計画で位置づけた観光拠点である山中溪地区とせんなん里海公園をつなぐルートを代表するルートとして様々なハイキングコースが設定できるなか、最短のルートでの回遊性を重視した、ハンガーコースから林道大河内線を経由するルートを記述しました。ご指摘のとおり林道山坂線を経由するルートは本市総合計画上に観光連携軸として代表するルートであることから下記のとおり修正をします。</p> <p>また、せんなん里海については、重要な観光資源であることから拠点として回遊を誘導します。</p> <p>記</p> <p>P16 2段落目(修正後)</p> <p>「本市の特徴である山と海の観光拠点をつなぎ、本市の魅力を最大限活かせるよう、山中溪駅から紀泉アルプスハイキングコースにある雲山峰、俎石山をめぐり、林道を経由し、せんなん里海に至るネットワークを代表ルートとして設定します。」</p> <p>P16 図(修正後)</p>  <p>(修正前)</p> 	左記のとおり原案を修正いたします。